たんそうさん（廣瀬淡窓）

日田生まれ日田育ち。日田人が尊敬する江戸時代の儒学者、廣瀬淡窓先生のゆるキャラ。

「日田のサイクリングは、勾配がキツく激坂ばかりじゃ！」
「体力に自信のある者（上級者）は、激坂を登り自分の限界に挑戦じゃ！」
「体力に自信のない者（初心者）は、無理せず引き返すか、ショートカットじゃ！」
「観光、温泉、グルメ、写真など自転車のほかに楽しみや目的をつくって楽しむのじゃ！」

Access 大分県日田市へのアクセス

» BUS

福岡空港	1時間30分	日田バスターミナル
天神高速バスターミナル	1時間35分	
博多バスターミナル	1時間50分	

» CAR

大宰府ＩＣ	約1時間	日田ＩＣ
大分ＩＣ	約1時間15分	
熊本ＩＣ	約1時間30分	

» JR

博多	特急約1時間15分	JR日田駅
熊本	新幹線20分 久留米 特急40分	
大分	特急約2時間	

発行元：奥日田デザイン会議　事務局：日田市観光課

4 JR日田駅・進撃の巨人像
Statue of Attack on Titan

日田杉をふんだんに使用し、歴史的町並みや伝統文化との調和を図った市の玄関口「JR日田駅」。日田市観光案内所も隣接しています。ここ日田市は漫画家・諫山創氏の故郷としても知られており、駅改札口を出ると代表作『進撃の巨人』の「リヴァイ兵士長像」がお出迎えです。銅像前のフォトスポットでは愛車と一緒にぜひ記念撮影を！

5 豆田の町並み（伝統的建造物群保存地区）
Mameda Street

古くから北部九州の各地を結ぶ交通の要衝として栄えた日田市。その中心的な存在となる豆田町は、江戸時代には西国筋郡代の御役所が置かれるなど、九州の政治・経済・文化の中心として繁栄し、当時の歴史的な町並みや伝統文化が今なお脈々と受け継がれています。情緒あふれる町並みは、のんびり散走するのにぴったりです。

6 咸宜園
Kangien

咸宜園（かんぎえん）は、江戸時代後期に生まれた儒学者・廣瀬淡窓（ひろせたんそう）が豊後・日田に開いた日本最大規模の私塾（学校）です。『咸く宜し』「ことごとくみなよろし」とは、すべてのことがよろしいという意味で、淡窓は門下生一人ひとりの意思や個性を尊重する教育理念が塾名に込められています。

7 三隈川沿いの日田温泉
Hita Onsen

九州最大の河川・筑後川の上流域にあたり、日田市の中央を流れる三隈川（みくまがわ）。夕陽を眺めながらのライドはひと味違った体験となることでしょう。川沿いには温泉旅館が立ち並び、日暮れとともに屋形船に火が灯ります。宿泊はもちろん、日帰り入浴が可能な温泉でライドの疲労感をすっきりリセットできます。

8 亀山公園
Kizan Park

日田三丘陵の一つ日隈山にある亀山（きざん）公園。その名の通り、温泉旅館街と三隈川に囲まれた風景の中にぽっこりと佇む姿はまるで亀の甲羅のよう。日田市街地各所へのアクセスも良好でポタリングの出発点にもおすすめです。三隈川・庄手川（しょうてがわ）に隣接し、水郷日田を代表する観水公園となっています。

9 日田の夏の風物詩「鮎やな場」
Ayu Yanaba

7月～11月初旬頃に登場する日田の夏の風物詩、伝統漁法「鮎やな」。三隈川をはじめとする日田の河川から恩恵を受けて育った鮎を食べることのできる店舗が期間限定で併設されています。店内からはやな場と三隈川の風景を一望でき、炭火でじっくり焼いた鮎は、皮はパリッと、身はホクホクの美味しさです。

10 高塚愛宕地蔵尊
Takatsuka Jizoson

願い事を何でも叶えてくれる「所願成就」のご利益があり、年中多くの参拝客が訪れる神仏混淆形式を残す地蔵尊。2,000体以上のお地蔵さまが一面に並ぶ様子は圧巻。参道にはゼンマイ・ワラビ・椎茸・栗など季節の農産物や土産品の売店が立ち並び、まさに「門前市をなす」賑わいです。急坂続きの道のりはクライマーにもおすすめ。

11 慈恩の滝
Jion Falls

日田市天瀬町と玖珠町の境に位置し、二段階式の滝で豊かな水が細かいしぶきをたてながら流れ落ちる様が勇壮。別名「裏見の滝」とも呼ばれ、下段の滝に通っている遊歩道からは落下する滝の裏側を見ることとも。また、夜間は滝全体が緑色にライトアップされ、幻想的な雰囲気が楽しめる名瀑です。『天瀬六瀑』のひとつ。道の駅が併設されています。

安全にサイクリングを楽しむために

自転車に乗るときは、交通ルールを守り、安全なサイクリングを楽しみましょう。

事前の準備

1. タイヤ空気圧やチェーン、ブレーキ、ライディングポジション等、事前の点検を行ってください。また、急な天候の変化に対応するため、雨具や防寒具も用意してください。
2. 修理キット、予備パーツやファーストエイドキット等、万が一に備えた携行品も準備しましょう。
3. 事故を起こしてしまったときに備えて自転車保険（自転車損害賠償保険）に加入しましょう。
   https://www.pref.oita.jp/soshiki/13000/zitensyazyourei.html
4. 事故によるケガ等、万が一に備えて地域の病院（休日当番医等）を事前に確認しましょう。
   https://www.city.hita.oita.jp/kenkou/iryou/yakan/index.html

マナー・マップ上の注意事項

1. 本マップで紹介しているルート及び施設は、全面的にサイクリングに最適な環境が整備されているわけではありません。ルートの一部区間には、路面状況の荒れた箇所や幅員の狭い箇所などがありますので、十分に注意して走行してください。
2. マップ上で紹介している施設等をご利用する場合は、各施設のルールに従い利用しましょう。
3. ごみの持ち帰りにご協力ください。

走行上の注意点

1. 原則、車道の左側を走行しましょう。
2. 自転車通行可能な歩道を走行する場合は、歩行者優先で徐行しましょう。
   ［歩道を通行できるケース］
   ・道路標識や道路標示で指定された場合
   ・運転者が13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者、身体の不自由な方の場合
   ・車道や交通の状況からみてもやむを得ない場合
3. 歩行者専用道路については、歩行者の通行を妨げないよう、自転車から降りて押して通行してください。
4. ヘルメットをかぶりましょう。
5. 夜間の走行は事故・トラブルの原因となり大変危険ですので、日中の安全で計画的なサイクリングを楽しみましょう。また、山間部のルート走行時は日中でも暗くなることがあります。早めのライト点灯でセーフティーライドを心がけましょう。
6. 後続車に気づかせる為、尾灯もしくは反射材をつけましょう。
7. 信号や標識に従って走りましょう。信号のない交差点はスピードを控えましょう。
8. 飲酒運転、二人乗り、二列以上の並走は止めましょう。
9. 交通量の多い区間や野生動物が出没する区間などもありますので、走行には十分に注意しましょう。
   ※詳細は、「自転車安全利用五則」をご確認ください。
   https://www.city.hita.oita.jp/soshiki/shiminkankyobu/shiminka/seikatsuanzen/seikatu/doro_kotsu/kotsu/3041.html

※国土地理院数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）を加工して作成

日田山系輪探険

HITA YAMA-RIDE EXPEDITION

日田市全域マップ＆全６ルート紹介

詳細情報はこちら

岳滅鬼山 1,037m　英彦山 1,199m　御前岳 1,209m　釈迦岳 1,230m　渡神岳 1,150m

福岡県東峰村　福岡県うきは市　福岡県八女市　大分県玖珠郡　熊本県小国町　熊本県菊池市

小鹿田焼の里　萩尾公園　豆田の街並み　日田駅　三隈川沿いの日田温泉街　夜明駅　杉河内駅　天ケ瀬駅　天ヶ瀬温泉街　スノーピーク奥日田キャンプフィールド　鯛生金山キャンプ場

01 OKUHITA Route : Long
02 OKUHITA Route : Short
03 AMAGASE Route : Long
04 AMAGASE Route : Short
05 ONTA Route
06 HITA Route

日田の酒蔵見学

A 井上酒造　B 薫長酒蔵　C いいちこ日田蒸留所
D サッポロビール九州日田工場

水郷日田の水の恵みをたっぷり受けた日田の酒造り。水の歴史やそれぞれの酒造りのこだわりを貴重な歴史的建造物や資料とともに堪能できます。お酒好きのサイクリストはぜひ寄り道することをおすすめします。場内見学希望などはそれぞれの施設に事前問い合わせを。

1 小鹿田焼の里
Onta Pottary

川の水を利用してゆっくりと動く唐臼（からうす）の音があちこちで響き、約300年続く焼物の里。「小鹿田焼（おんたやき）」は、昔ながらの伝統の技を一子相伝で継承し、飛び鉋（とびかんな）の技法で用いた幾何学的な模様や、民芸陶器らしい素朴な風合いで知られます。窯元横に直売所が併設され、ライド中の買い物にも郵送で対応してくれます。

2 池ノ鶴棚田の田園風景
Ikenotsuru Tanada

皿山地区の上流に位置する池ノ鶴地区には、険しい斜面に石積みで築いた棚田が広がり、美しい田園風景が残されています。冷たい湧水を水路「除け」で温めたうえで水田に引き込む水利システム、石垣に自生する茶葉を用いた製茶、各家に備わっている炭焼き窯で木炭を生産するなど、人と自然のつながりを肌で感じることができるでしょう。

3 こととといの里
Kototoi no sato

市街地の外れに位置し、日田市北部の山に囲まれた山里の自然を堪能できる「小野民芸村 こととといの里」。地下250mから湧き出る「多嘉良の水」が24時間利用できます。豊かな水をたたえる渓流の風景を楽しみながら、シューズを脱いで水辺に降りてみるのも一興です。真夏のライドで熱くなった足の疲れも一瞬で吹き飛ぶこと間違いなし。

12 天ケ瀬駅
Amagase Station

JR九州・久大本線が通る駅であり、特急「ゆふ」「ゆふいんの森」各号の停車駅でもある天ケ瀬駅。駅舎の横に観光案内所「天の国プラザ」が併設され、観光客を温かく迎える手湯と足湯が設置されています。一歩町へ踏み出すと天ヶ瀬温泉の温泉街が目の前に広がり、水量豊かな玖珠川の流れと相まって独特の風景を堪能できます。

13 天ヶ瀬温泉街
Amagase Onsen

別府、由布院と並ぶ豊後三大温泉の「天ヶ瀬温泉」は、「豊後国風土記」に「天武天皇の時代、大地震でこの辺りの山が崩れ熱湯が湧き出した」と記載、江戸時代には湯治場として大変に栄えていたと伝わります。古くより上質な湯質で知られており、川岸に点在する共同露天風呂から立ち上る湯煙が温泉情緒を一層引き立てます。

21 宮園神社
Miyazono Shrine

日田市中津江村にある神社。主祭神は天神七代と地神五代。老松社として大宰府天満宮と深い関わりを持つ。周囲には威風堂々と日田杉が立ち並び、樹齢300年以上の杉も。日田地方で初めて杉が植えられた場所と伝わり、日田杉発祥の地とも。ここで行われる伝統行事「餅つき祭」と「的ほがし祭」は、奇祭としても知られています。

22 オートポリス
Autopolis

日田市上津江町にある1周4,674mのインターナショナルレーシングコース。国内四輪レース最高峰の「スーパーフォーミュラ」や「スーパーGT」、国内二輪レース最高峰の「全日本スーパーバイク選手権」などが開催され、モータースポーツファンにはお馴染みです。近年はサーキットを使ったサイクルロードレースも開催されています。

山　キャンプ場

日田の祭り Seasonal Event

日田川開き観光祭【5月20日以降の土・日】

あゆ漁の解禁とともに初夏の訪れを告げる「日田川開き観光祭」。２日間で約1万発の花火が日田盆地に大音響を轟かせ、夜空を彩ります。三隈川に浮かぶ屋形船からは、鵜匠の巧みな技と地酒を堪能できますよ。

日田祇園祭【7月20日過ぎの土・日】

約 300 年の伝統を誇る伝統行事「日田祇園祭」。疫病や風水害を払い安泰を祈念し、山鉾が祇園囃子の音色とともに隈・竹田・豆田地区の町並みを巡行します。夜の提灯を飾り付けた優雅な晩山は必見。

千年あかり【11月 第2金・土・日】

約３万本の竹灯籠が豆田町の古い町並みと「水郷ひた」のシンボルの一つ花月川河畔を優しく照らし、訪れる人を幽玄の世界へと誘います。暮れゆく風景に明滅する灯籠のゆらぎを堪能してください。

天領日田おひなまつり【2月15日～3月31日開催】

江戸時代、九州随一の繁栄を極めた天領日田。旧家には京や大阪で買い求めた絢爛豪華なひな人形・道具の数々が現存し、おひなまつりの期間中、豆田町や隈町の旧家・資料館で一斉展示・公開しています。

おおやま梅まつり【2月中旬～3月上旬】

「梅の里おおやま」（日田市大山町）では、毎年開花の時季を迎えるといたるところが白や淡いピンクの色に染まり、馥郁（ふくいく）とした香りに包まれます。梅まつり期間中は梅園を無料開放。

津江山系釈迦連峰山開き【4月第4日曜日】

登山客で賑わいをみせる津江山系・釈迦連峰。どこまでも続く森林はたっぷりと水を蓄え、澄んだ空気であなたを迎えます。山々の頂に遅めの春が訪れる頃、大いなる自然の恵みに感謝するひとときです。

14 桜滝
Sakura Falls

JR天ケ瀬駅の裏手にあり、案内看板に従って桜滝遊歩道を歩くこと約10分。豊後国誌によれば、「桜花滝は五馬（いつま）の荘桜滝村にあり、高さ5丈あまり、砕け散ること花の如く、流下することスダレの如し」と紹介され、江戸時代より文人・墨客に愛された滝として知られています。季節によってライトアップされるなど「天瀬六瀑」のひとつ。

15 亀石峠／曽田の池
Kameishitoge, Sotanoike

阿蘇方面を一望でき、見渡す限りの大パノラマが広がる絶景スポット「亀石（かめいし）峠」。近隣の湯ノ見岳ふもとに広がる「曽田（そた）の池」は上池と下池の２つからなり、運が良ければ牛の放牧風景が見られることも。新緑の季節には一面の緑を水面に映し、これ以上ない美しい情景を創り出す知る人ぞ知る隠れたスポットです。

16 水辺の郷おおやま／進撃の巨人ミュージアム
Mizube no Sato Oyama / Museum of Attack on Titan

人気漫画「進撃の巨人」原作者・諫山創氏が日田市大山町出身であることから全面協力を得て開館したミュージアム。入場および閲覧は無料で原作漫画やアニメーションのファンであれば一度は足を運びたいスポットとなっています。展示内容も巨人オブジェからマニアックな原画まで豊富に揃っており、たっぷり時間を掛けて鑑賞したいところ。

17 大山ダム・進撃の巨人像
Statue of Attack on Titan

大山ダム下流広場に「進撃の巨人」に登場する主人公・エレンとミカサ、アルミンの銅像が設置されています。銅像は３人の少年期の等身大で、高さ94mの大山ダム堰堤を作中の“人を守る壁”に見立て、物語のはじまり、超大型巨人との遭遇シーンを再現しています。銅像とともにダムを見上げると……まるでそこはウォール・マリアのよう！

18 スノーピーク奥日田キャンプフィールド
Snow peak okuhita campfield

標高950mに位置する九州屈指の人気キャンプフィールド。津江三山の御前岳・釈迦岳・渡神岳に囲まれ、夏は高原の清涼感を、冬は雪中キャンプを楽しむこともできるフィールドです。晴れた日は遠く阿蘇の姿を望むこともできるキャンプフィールドにはスノーピーク直営店舗が併設されており、最新・充実のアウトドア・ギアを探すこともできますよ。

19 鯛生金山／フォレストアドベンチャー奥日田
Taio Kinzan, Forest Adventure okuhita

日田市中津江村にあり、かつて国内最大の金産出量を誇った鯛生金山。現在は道の駅とかつての坑道を使った地底博物館として賑わいます。また、森に親しむプレイパークとして人気の「フォレストアドベンチャー奥日田」が隣接しており、森の中を駆け抜けるジップスライドでの空中散歩と、夏でも涼しい坑道探検を一緒に楽しめる欲張りなスポットです。

20 津江三山（御前岳・釈迦岳・渡神岳）
Gozendake, Shakadake, Togamidake

大分県と福岡県の県境にまたがる御前岳・釈迦岳に渡神岳を加えて津江三山と呼ばれる。釈迦岳は福岡県の最高峰としても知られ、春から秋にかけての縦走路は登山客で賑わいをみせる。空気が澄んだ晴天時には阿蘇山・由布岳はもちろんのこと、遠く有明海や雲仙・普賢岳まで山頂から見渡せることも。毎年４月に山開きの神事が執り行われる。